



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R7年度 CS通信No.2 R7.5.20



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

西海小(5/7)と舞戸小(5/9)で走り方教室開催



教育みらい課スポーツ振興班の取り組みの一つで、「走り方」の専門家である地域の方を迎えた走り方教室が西海小と舞戸小であり、全児童が指導を受けました。

西海小3・4年生は、鯨ヶ沢町陸上競技協会会員の指導を受けました。

「腕と足を大きく振ってスキップしましょう。下を見ないで胸を張るようにしましょう。」と、アドバイスを受けた子どもたちは、笑顔で楽しく練習に取り組んでいました。

子どもたちに話を聞いてみると、「講師の先生の話聞いてがんばったら、今日一日で速く走れるようになりました。5月24日(土)の運動会が楽しみです。」と、うれしそうに話していました。

地域の方が特技を生かして指導するクラブ活動がスタート(5/15 舞戸小学校)



舞戸小学校のクラブ活動は、Kスポーツ、音楽、写真、パソコン、理科実験、ダンス、アート、クッキングの8つです。このうち、7つのクラブは、地域の方々が生かして指導しています。

Kスポーツクラブでは、様々な軽スポーツに取り組む予定で、この日は、社会福祉協議会の方々

3名を講師に迎え、ポッチャに挑戦していました。

ポッチャは、令和3年の東京パラリンピックで注目を集めた競技で、目標球と呼ばれる白い球に、赤と青の球を投げたり、転がしたりして近づけます。

まず、競技のルールと進め方について、講師の説明を聞いたあと、活動が始まりました。

競技は、一球ごとに逆転の連続で、子どもたちは、喜んで取り組んでいました。

子どもたちに話を聞いてみると、「一球で勝負が逆転することがあるので、おもしろい。」「みんなで楽しく競技できる。」と、話していました。

また、講師の先生方は、「子どもたちがポッチャを楽しく体験できて良かった。子どもたちは、ルールを覚えるのが速い。」と、話していました。

西海小5年児童が「代かき」作業見学と田植えの準備実施(5/16)



水田では、はじめに耕した後に、水を入れて機械でかき混ぜ、泥状にする作業を「代かき」といいます。この日は、5年生児童7名が「代かき」と育苗箱に植えた苗の成長具合を見学しました。

この日の活動では、地域学校協働活動推進員の工藤律子さんが、学校支援ボランティアに声をかけて、集ってもらい、児童の安全確保等の支援を行いました。また、育苗箱の苗は、15cmほどに成長していました。兼平さんの指導で、苗を植える水田に、除草剤もみんなで撒きました。

田植えの準備は万端に整っています。

5月21日(水)の田植え作業が楽しみです。